

# 第21回

## 高校生による海外エネルギー事情研修会 実施報告書



平成27年2月26日

# 1. 研修参加者

## [高校生 2 年生 6 名]

青森県立青森西高等学校

安村 和将

青森県立三本木高等学校

齊藤琳太郎

青森県立十和田工業高等学校

寺澤 就

青森山田高等学校

松平 寛文

青森県立弘前高等学校

佐藤絵理加

青森県立八戸高等学校

高山 咲希

## 2. 本研修の目的

◆欧州 2 ケ国のエネルギー事情を学び、資源に乏しい日本の将来のエネルギーはどうあるべきか、その中で青森県はどんな役割を果たすのが望ましいかについて考える

◆異なる視点で物事を見つめること、海外の異文化に触れることなどを通じて、自分自身の「成長」につなげる

◎発表や議論の場を通じて、「自分の意見を述べる力」を身につける

□エネルギー施設の視察（日・仏・瑞）

□仏・瑞両国の高校生との交流

○英語による自己紹介

○日本の「今」についての説明（文化・生活、東日本大震災など）

○エネルギー問題に関するプレゼンテーション&ディスカッション

○その他文化交流、食事会など

□仏・瑞両国の文化（歴史、食、習慣など）に触れる

□自分とは異なる他者（生徒、随行者）とのコミュニケーション

### 3. 全体スケジュール

- |            |            |  |
|------------|------------|--|
| (1) 募集案内   | 8月19日      | 県内全高校に案内文書発送   |
|            | 9月19日      | 締切   |
|            |            | 34校56名の応募  |
| (2) 当選通知   | 10月8日      | 当選通知文書発送   |
| (3) 事前研修会① | 11月9日～10日  | (むつ市ほか)<br>東北電力(株)東通原子力発電所、<br>日本原燃(株)原子燃料サイクル施設他を見学 |
| (4) 事前研修会② | 1月7日～8日    | (青森市)  |
| (5) 海外研修   | 1月26日～2月6日 | (12日間)   |
| (6) 知事表敬訪問 | 2月26日      |  |
| (7) 座談会    | 2月26日      |  |

## 4. 海外研修日程

	月日	行 程	実 施 事 項
1	1/26 (月)	青森県内各地⇒東京駅 ⇒羽田(泊)	●新幹線+バスで移動 ●仏、瑞大使館を表敬訪問
2	1/27 (火)	羽田⇒パリ⇒カーン(泊)	●約11時間半のフライトでフランスへ ●パリから約4時間のバス移動
3	1/28 (水)	カーン⇒モン・サン・ミッシェル ⇒ランス潮力発電所 ⇒シェルブール(泊)	●世界遺産「モン・サン・ミッシェル」見学 ●「ランス潮力発電所」視察
4	1/29 (木)	シェルブール⇒ラ・アーグ ⇒シェルブール(泊)	●アレバ社「ラ・アーグ再処理工場」視察
5	1/30 (金)	シェルブール(泊)	●グリニャール高校生徒との交流会・夕食会
6	1/31 (土)	シェルブール⇒パリ(泊)	●陸路 パリへ 約5時間の移動 ●ルーブル美術館見学 ●前半の成果と反省を振り返り
7	2/1 (日)	パリ⇒ストックホルム(泊)	●パリ市内見学(ノートルダム寺院など) ●空路、フランスからスウェーデンへ

	月日	行 程	実 施 事 項
8	2/2 (月)	ストックホルム⇒ウプサラ(泊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンマルビー・ショースタッド視察</li> <li>●ストックホルム市内見学(市庁舎など)</li> </ul>
9	2/3 (火)	ウプサラ⇒エストハンマル ⇒ウプサラ(泊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フォルスマルク原子力発電所(PR施設)視察</li> <li>●フォルスマルク中・低レベル放射性廃棄物 貯蔵施設視察</li> <li>●カテドラル高校生徒との夕食会</li> </ul>
10	2/4 (水)	ウプサラ(泊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カテドラル高校生徒との交流会</li> </ul>
11	2/5 (木)	ウプサラ⇒ストックホルム ⇒(機内泊)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カテドラル高校生徒の案内でウプサラ市内 見学</li> <li>●ストックホルム空港から帰国の途へ</li> </ul>
12	2/6 (金)	⇒羽田⇒青森空港	<ul style="list-style-type: none"> <li>●羽田から青森空港 解散</li> </ul>

## 5. 参加者の個人目標

高校生6名は全員で相談し、研修期間中の目標として、  
『私たちのEnergy, 未来にLink up』を全体スローガンに掲げるとともに、  
個人で決めた目標も達成できるよう、一所懸命がんばりました。

安村和将さん	エネルギー・原子力学習面	●日本と海外との違いを第一に比較して、その違いをこれからに役立てられるようにする。これからの日本に必要なものを見つけたい。
	現地高校生との交流面	●とにかく自分を出して、日本ではできない交流をしてくる。 ●写真をたくさんの人と撮りたい。
	生活・文化面	●日本との違いに触れてきたい。全てのことを刺激に変える。
齊藤琳太郎さん	エネルギー・原子力学習面	●まだまだ知らないことが多いので、見学先では積極的に質問する。 また、最低限の知識は得ておく。
	現地高校生との交流面	●受身の姿勢ではなく、積極的に話かける。自分達の暮らしをPRすることで日本や青森についてより知ってもらう。
	生活・文化面	●世界的に有名な場所にも行くため、純粋に楽しむ。 ●仲間との積極的なコミュニケーションをとる。
	その他	●自分自身を成長させる。



寺澤就さん	エネルギー・原子力学習面	●相手国と日本との原子力に対しての考えを比べ、自分の見聞を広めたくさんの知識を身につけたい。
	現地高校生との交流面	●考え方や意識の違いを感じ、自分に活用できることを学び友達を作りたい。
	生活・文化面	●日本と比べ、相手国の生活・文化の中で良いと思ったところを学び、自分の見聞を広げたい。
松平寛文さん	エネルギー・原子力学習面	●日本と外国のエネルギー情勢を比べて、どれが現実的か判断する。
	現地高校生との交流面	●英語が苦手なので苦手なりに努力する。
	生活・文化面	●日本との共通点、違うところを見つけ出す。



佐藤絵理加さん	エネルギー・原子力学習面	●フランス・スウェーデンの高校生みなさんがどれだけエネルギーに興味を持ち勉強しているのかを知り、自分の目標にする。
	現地高校生との交流面	●遠慮せずにどんどん話しかけ、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとる。
	生活・文化面	●ヨーロッパの文化を必ず1つ見につけてくる。
高山咲希さん	エネルギー・原子力学習面	●施設見学の際は必ず1回は質問する。
	現地高校生との交流面	●20人とツーショット写真を撮る。 ●積極的に英語で質問する。
	生活・文化面	●起床・就寝時間、5分前行動をするなど時間を大切にする。 ●恐れずに何でも食べる。

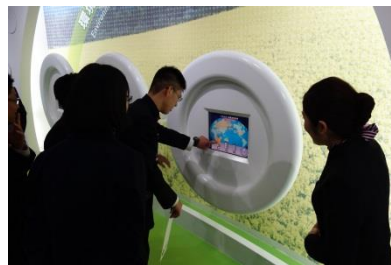
## 6. 研修スナップ(出発前編)



11月9日～10日 第1回事前研修会  
オリエンテーション・自己紹介



東北電力(株)東通原子力発電所、  
日本原燃(株)原子燃料サイクル施設を見学しました

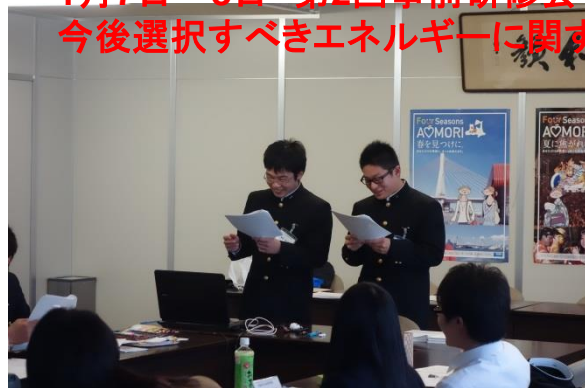




## 6. 研修スナップ(出発前編)つづき

1月7日～8日 第2回事前研修会

今後選択すべきエネルギーに関するプレゼンテーションのリハーサルを実施



座学によるエネルギー学習の  
ほか、身のまわりの放射線を  
計測する実験を実施



フランス大使館のグゼリ原子力参事官、スウェーデン大使館のレイラム商務参事官より激励のお言葉をいただきました。





# 7. 研修スナップ(フランス編)

## フランス電力「ランス潮力発電所」見学



ランス川の河口に設置された世界初の潮力発電所を見学。潮汐流を利用した発電の仕組みについて学びました

## グリニャール高校との交流会



グリニャール高校の生徒との初対面

- 英語で自己紹介
- 日本・青森の紹介 (プレゼンテーション)
- 今後選択すべきエネルギーに関するプレゼンテーション&ディスカッション
- 文化交流、学校内見学



白熱したディスカッションを通して日仏両国のエネルギー事情について理解を深めました



日本の文化に興味深々

## アレバ社「ラ・アーク再処理工場」見学



日本原燃六ヶ所再処理工場のモデルとなった「ラ・アーク再処理工場」を見学





# 8. 研修スナップ(スウェーデン編)

## 環境保護先進モデル地区 「ハンマルビー・ショースタッド」見学



未利用資源をエネルギーとして徹底活用する循環型モデル都市の説明を受けました

## ヴァッテンフォール社「フォルスマルク原子力発電所」、 SKB社「フォルスマルク中・低レベル放射性廃棄物貯蔵施設」の見学



原子力施設の見学を通して、2010年に脱原子力を見直したスウェーデンのエネルギー政策やエネルギー事情などについて学びました



## カテドラル高校との交流会



副校長先生にカテドラル高校の歴史を教えてくださいました



カテドラル高校には留学生も多く、スウェーデンのほかドイツ、イタリア、イラン、アメリカ、カナダなど各国のエネルギー事情について知ることができました



- 英語で自己紹介
- 今後選択すべきエネルギーに関するプレゼンテーション&ディスカッション
- 文化交流、学校内見学
- 夕食会、市街地見学（現地高校生がガイド）



文化交流も大切な学習の一つです



# 9. 研修スナップ(その他)



フランスでは世界遺産のモン・サン・ミッシェル、ルーブル美術館などを見学



グリニャール高校との  
交流会の前日にプレ  
ゼンテーションのリハ  
サルを実施



カテドラル高校の生徒が  
準備してくれた夕食会。  
前日の夕食は名物!?の  
トナカイのステーキ



書道、お囃子、空手など日本や青森の文化を紹介。現地の高校生との交流を楽しみました

